

拝島駅南口周辺の整備



昭島市 都市整備部 建設課

〒196-8511 東京都昭島市田中町 1-17-1

電話番号：042-544-5111（代表）

発行年月日：平成 31 年 4 月

ホームページ：<http://www.city.akishima.lg.jp>

事業の概要

拝島駅は、昭島市と福生市をまたぐ位置にあり、JR 東日本の 3 路線（青梅線、五日市線、八高線）と西武鉄道（西武拝島線）が乗り入れる、多摩西部における重要な鉄道交通結節点です。

昭島市においても西の玄関口として主要駅ですが、南北の移動をするためには駅構内の階段や離れた陸橋、踏切を渡るしかなく南北が分断されていました。また、駅南口の道路は、自動車交通量が 1 万台、歩行者交通が 1 万人（平日の昼間 12 時間）と非常に多いにもかかわらず幅員 9m の道路しかなく、駅前広場も未整備なため人と車が混在した駅前となっていました。さらに、自転車等駐車が、拝島駅周辺に点在し、距離も離れていることなどから違法駐輪が発生するような状況となっていました。

拝島駅周辺事業では、南北自由通路、都市計画道路 3・4・2 号（駅前広場を含む）と、自転車等駐車場の整備の 3 つの事業を一体的に行うことで、利便性の向上、安全性の確保などを図り、駅南口のまちづくりに寄与することを目的として整備を進めてきました。

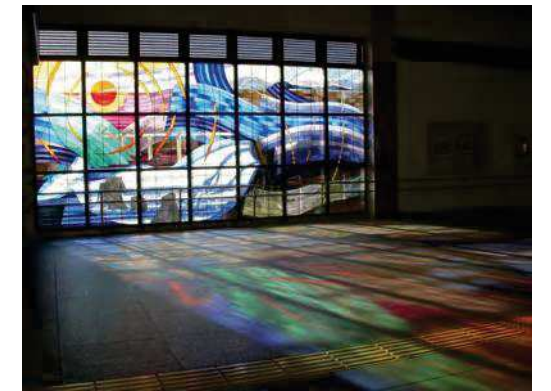
本事業により、バス停留所や自転車等駐車を駅前に整備し、自動車・歩行者の交通混雑も解消され、利便性、安全性、商業環境が向上しました。さらに鉄道により分断されていた地域が自由通路により一体化されました。

昭島市の概要

昭島市は、都心から西に約 35km、地形的には東京都のほぼ中心に位置し、北側・東側は立川市、西側は福生市、南側は八王子市・日野市に接しています。面積は 17.34 平方 km、人口は 113,360 人（平成 31 年 4 月 1 日）の、多摩地区では中核的な都市として位置づけられています。

昭和 29 年、北多摩郡昭和町と拝島村が合併し、東京都で 7 番目の市として誕生しました。

昭和 36 年の夏、市域の多摩川でクジラの化石が発見され、以来「アキシマクジラ」として市のシンボルとなり、マンホールの絵柄などにデザインされています。拝島駅の自由通路内のステンドグラスにも採用されました。また、地下水に恵まれ、市内の水道は地下水 100% で供給されています。



南北自由通路のステンドグラス

事業のコンセプト

拝島駅周辺事業では、拝島駅南口地区まちづくり検討委員会や事業実施前のアンケート調査等より「ぶらぶら歩きがここちよいまち・拝島」という理念を基に、駅と駅周辺が一体となった整備となるよう以下の 3 つを目標として進めてきました。

- ・「交通結節点と一体となった地域生活拠点としてのニーズへの対応」
- ・「交通結節点としての都市基盤整備の推進」
- ・「地域生活拠点としての都市機能の充実」

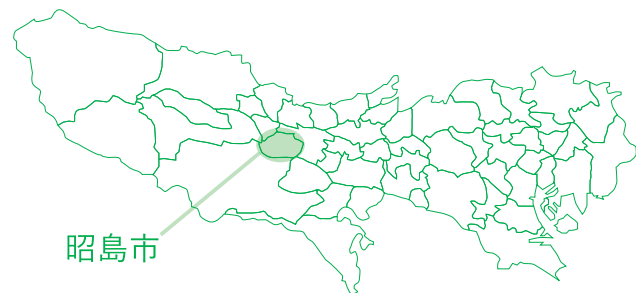
昭島市の豆知識

市の花：ツツジ

市の木：モクセイ

地 形：北西から南東に向かい多摩川まで緩やかに傾斜

地 質：多摩川沿岸の低地は沖礫層
多摩川沿岸から北側は
洪積層の武蔵野台地



昭島市

整備計画当初のイメージパース



整備前後（拝島駅南口周辺地域の課題とその対応）



拝島駅周辺の航空写真



拝島駅周辺の航空写真



駅周辺の整備

58.8%が満足

利用者に優しい

- ・ 人と車を分離し、歩行空間および道路空間にゆとりをもたせることで安心・安全に利用できるようになりました。
- ・ 駅に隣接して公共交通、自転車等駐車を整備することで利便性が向上しました。
- ・ 一般車の送迎用に乗降場を確保しました。
- ・ 車椅子をご利用の方や高齢者の方等が、雨に濡れないで乗降できる場所を駅の直近に設置しました。
- ・ 背もたれ付きのベンチやサポートベンチ等の休憩施設を設置しました。

整備前の栞島駅周辺の様子



昭和 37 年頃の旧駅舎



平成 17 年頃の旧駅舎



消防車が入れないほど密集した駅付近



人と車が混在した渋滞状況

整備後の栞島駅周辺の様子



現在の駅前広場 (交番前付近・交番側)



現在の駅前広場(交番前付近・バス停留所側)



栞島駅周辺整備計画時に作成したイメージパース



現在の駅前広場

駅前広場の整備

71.5%が満足

利用者に優しい

- ・ 遮熱性舗装（歩道舗装の一部）により、良好な景観と快適な歩行空間を確保しました。
- ・ 連続したシェルターにより雨に濡れないで移動できるようになりました。
- ・ ユニバーサルデザインにより、安心・安全に利用できるようになりました。

整備前の拝島駅前



駅前の空間が狭く歩車分離も実施されていない駅前広場

整備後の拝島駅前広場



歩車分離が実施され駅前の空間も広々とした駅前広場

都市計画道路 3・4・2号の整備

57.9%が満足

交通の円滑化

- ・ バイパス道路を作ることで、駅や国道へのアクセス性が向上し、駅周辺の渋滞が緩和しました。
- ・ 旅行速度が 10.0km/h から 11.1km/h へと向上しました。

地域の防災性や安全性の向上

- ・ 無電柱化（電線類地中化）により都市防災機能が強化されました。

整備前の拝島駅前道路



市道昭島 17号及び 46号（駅前道路）の松原町 4丁目交差点まで続く渋滞の状況

整備後の都市計画道路



バイパス道路(都市計画道路 3・4・2号)により駅前道路と分離され渋滞が緩和

バス／タクシー乗降場の整備

64.2%が満足

公共交通の乗り換え利便性向上

- ・ バス、タクシー乗降場を駅に隣接して整備し、駅から連続したシェルターで接続しました。
- ・ バスが正着しやすいバス停留所形状としました。
- ・ バスの乗り降りしやすい縁石、歩道形状としました。

整備前のバス／タクシー乗降場



人と車が混在していたタクシー乗降場



駅から100mほど離れていたバス乗降場

整備後のバス／タクシー乗降場



シェルターが完備されたバス乗降場



シェルターが完備されたタクシー乗降場

南北自由通路の整備

73.8%が満足

駅を挟んだ南北の移動時間の短縮効果

南北自由通路開通前
南北自由通路開通後



交通の円滑化

- ・ バリアフリー化し、安全かつ楽に南北の移動ができるようになり、利便性が向上しました。

整備前の南北移動の様子



拜島駅構内通路 (有料)



拜島駅地下通路 (有料)



日本一長かった踏切

整備後の南北自由通路



幅が広く誰もが通りやすい南北自由通路



構内図



エレベーター



イメージパース(南北自由通路整備計画時)



エスカレーター

整備前後とその評価

栢島駅南口地下自転車駐車場

自転車利用の利便性向上

- ・ 駅から離れて点在していた自転車等駐車場を駅前広場の地下に集約することで、自転車等駐車場と駅までの距離が短くなり、利用しやすくなりました。
- ・ 自転車等駐車場の地上部には、駅から連続したシェルターや屋根を整備しました。この整備によって、自転車等駐車場から雨に濡れないで駅を利用できるようになりました。

整備前の駐輪の様子



栢島駅周辺の違法駐輪



栢島駅から離れた地点にあった駐車場

整備後の地下自転車等駐車場



自転車等駐車場整備計画時のイメージパース



自転車等駐車場出入口



自転車等駐車場



自転車等駐車場

電線類地中化による無電柱化整備

都市防災機能の強化

- ・ 災害時の電柱や電線の倒壊による道路閉塞や、電気や電話の断線の可能性を減らすことで、ライフラインの安定供給を確保しました。

安全で快適な歩行空間の確保

- ・ 無電柱化することで歩行者やベビーカー、車椅子を利用する方にも快適な歩行空間を確保しました。

良好な都市景観の創出

- ・ 視線を遮る電柱や電線をなくし都市景観の向上を図りました。

整備前の街なみ



電柱が林立し電線が混在していた状況（左：市道昭島46号、右：市道昭島17号）



整備後の街なみ



栢島駅南口周辺整備計画時のイメージパース



整備後の街なみ



すっきりとした街なみ状況

市民との協働

拝島駅南口駅前広場の景観を検討する会



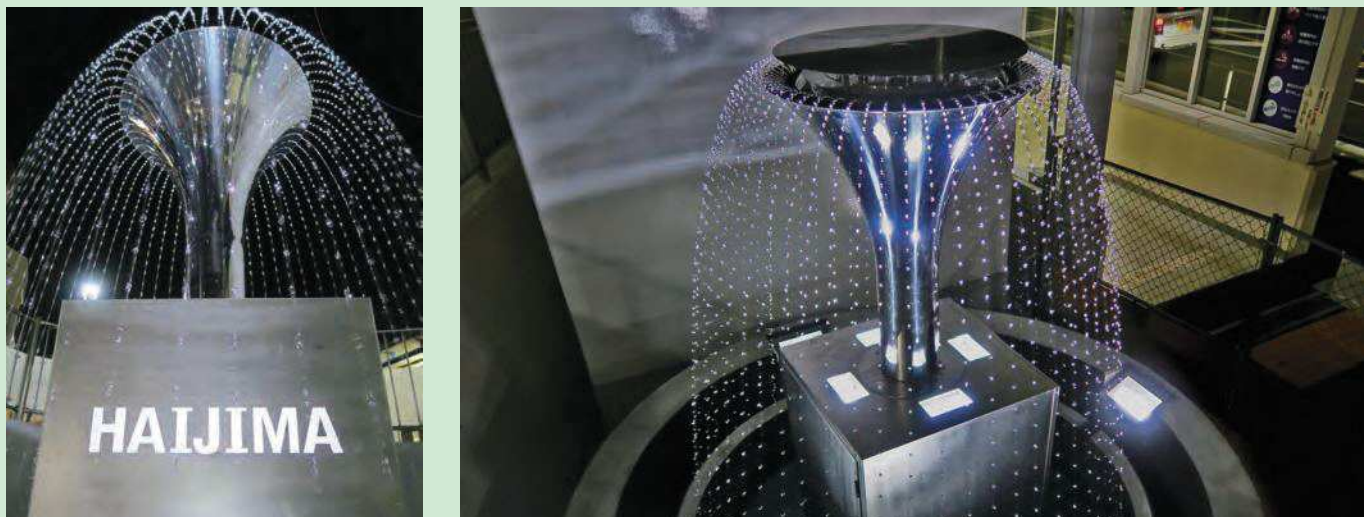
拝島駅南口駅前広場の景観を検討する会と昭島市と一体となって整備を進めました

拝島駅南口駅前広場の歩道舗装デザインの検討



アンケートや試験施工を実施し歩道舗装デザインを決めました

拝島駅南口駅前広場のモニュメントの検討

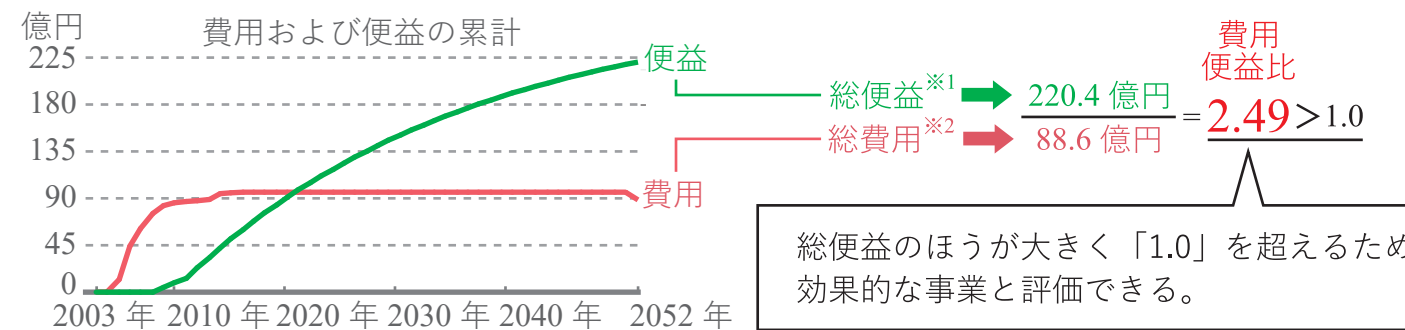


モニュメントの検討により昭島市のシンボルであるクジラをイメージした噴水となりました

拝島駅と拝島駅南口周辺の経過

- 明治 27 年 (1894 年)
青梅鉄道が開業し拝島駅を設置
- 昭和 19 年 (1944 年)
青梅鉄道、五日市鉄道が国有化・五日市線拝島～立川間を廃止
- 昭和 29 年 (1954 年)
昭和町と拝島村が合併し昭島市となる
- 昭和 43 年 (1968 年)
西武拝島線が開通
- 平成 15 年 (2003 年)
東京都、昭島市、福生市、JR 東日本、西武鉄道で「鉄道駅における交通結節点機能改善連絡調整会 拝島駅部会」を設置
- 平成 16 年 (2004 年)
昭島市、福生市、JR 東日本、西武鉄道で基本協定を締結
- 平成 17 年 (2005 年)
拝島駅自由通路及び橋上駅舎工事の起工式・拝島駅南口地区まちづくり検討委員会発足
- 平成 18 年 (2006 年)
都市計画道路 3・4・2 号、最後の区間である拝島駅南口区間に着手
- 平成 19 年 (2007 年)
橋上駅舎および自由通路の一部供用開始・拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会発足
- 平成 22 年 (2010 年)
自由通路全面完成
- 平成 23 年 (2011 年)
拝島駅南口自転車等駐車場の事業に着手
- 平成 26 年 (2014 年)
拝島駅南口自転車等駐車場完成
- 平成 28 年 (2016 年)
都市計画道路 3・4・2 号開通
- 平成 30 年 (2018 年)
都市計画道路 3・4・2 号事業完了・市道昭島 17 号事業完了
- 令和 元年 (2019 年)
市道昭島 46 号事業完了

費用便益比算定による事業効果の評価



※1：総便益＝都市計画道路 3・4・2 号、拝島駅南口駅前広場、南北自由通路の整備(拝島駅南口周辺の整備)による便益
 ※2：総費用＝拝島駅南口周辺の整備に関する整備費＋維持管理費